学校番号	２１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新国語問題集　アシスト現代文編　第２３集 新国語問題集　アシスト古文編　第２３集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年次、3 年次の現代文・古典を中心に総復習を行う。基本的事項の定着をはかり、発展的、応用的な国語力を養います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に着けてください。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業中は板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などを自発的にメモする習慣をつけましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、国語に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、主体的に文章に触れ親しむ態度を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、適切に使っている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者とかかわったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書かれている内容を理解し，論理的に考えることの意義を知る。 ［教材］ 中畑正志「アリストテレスの哲学」 五來重「日本人の死生観」 花田清輝「林檎に関する一考察」 鷲田清一「わかりすいはわかりにくい？臨床哲学講座」 吉行淳之介「子供の領分」など	a：言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している c：粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ，今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて，「読書」について自分の意見をまとめ，発表しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリント など
	登場人物の言動や心中思惟を的確にとらえ、人物造型を把握する。 文法事項に留意する ［教材］ 清少納言「枕草子」 紀貫之「土佐日記」 「浜松中納言物語」 鴨長明「発心集」など	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 c：平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリント など
二学期	表現の特色に着目して情景と心情の描写の妙を把握する。 文法事項に留意する ［教材］ 「閑居友」 兼好法師「徒然草」 松尾芭蕉「おくのほそ道」 「十訓抄」など	a：・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b［ 書 ］：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。 c：先人のものの見方や感じ方に興味をもち、自分のものの見方や感じ方を豊かにしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリント など
	具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み，芸術や文化について考える。 ［教材］ 岡田暁生「音楽の危機」 谷崎潤一郎「芸談」 田中智輝「『ポップカルチャー』とは何か？」 藤原辰史「食を聴く」 辻邦生「眞晝の海への旅」など	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：進んで芸術における具体と抽象の関係性や，筆者の論の進め方を捉え，学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる，芸術に対する見方を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート レポート 授業プリント など
三学期	・論理的に文章を読み解き，近代、現代社会について考える。 ［教材］ 貞包英之「消費社会を問いなおす」 内山節「子どもたちの時間」 大沢真幸「民主主義の幸せな結婚」 岡本裕一朗「アメリカ現代思想の教室」など	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している	小テスト	授業プリント	ワークシート レポート 授業プリント など

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数　・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間